

調 査 結 果

1. 人 口

C0101-1 人口総数及び増加数

大町市の令和2年人口は26,029人で、そのうち都市計画区域内の人口は24,394人（全人口の93.7%）である。市の人口は平成12年から令和2年の20年間に7,521人減少、率で22.4%減少している。

用途地域指定区域の人口は12,352人（全人口の47.5%）で、平成12年以降引き続き減少している。

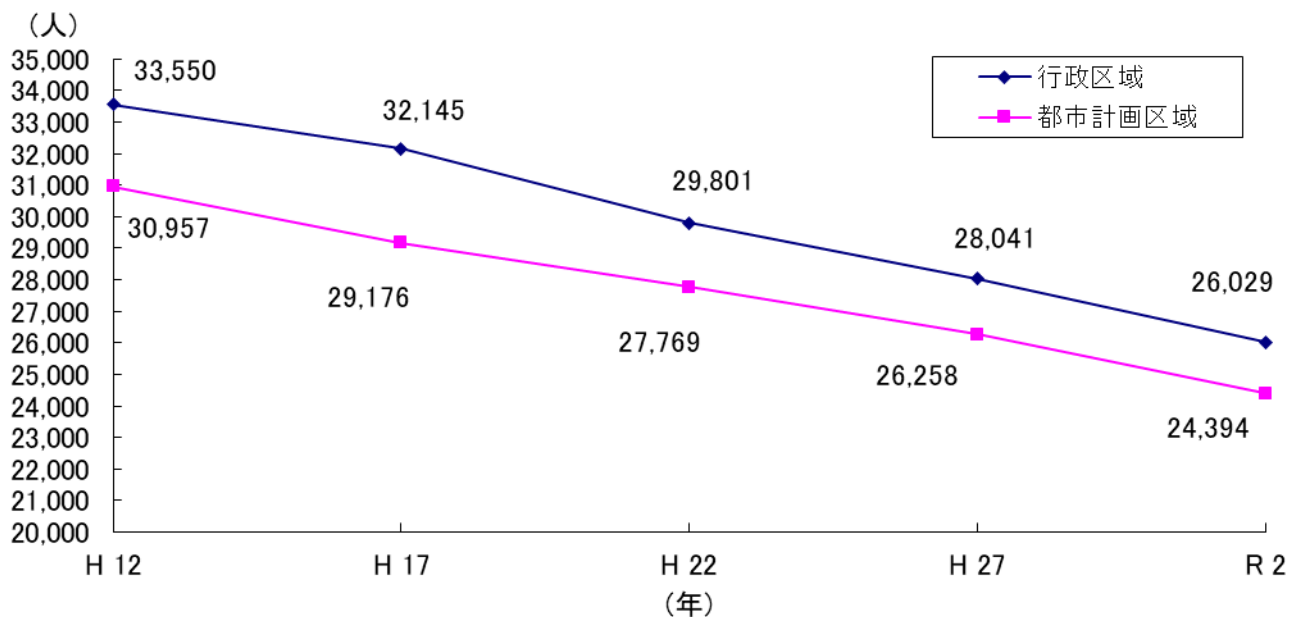
図表1-1 人口総数及び増加数

（平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査 男女, 年齢(5歳階級), 国籍総数か日本人別人口）

年次	行 政 区 域			都 市 計 画 区 域			用途地域指定区域		
	人口 (人)	5年間の増減		人口 (人)	5年間の増減		人口 (人)	5年間の増減	
		人口 (人)	率(%)		人口 (人)	率(%)		人口 (人)	率(%)
H 12	33,550			30,957			16,308	-	-
H 17	32,145	▲1,405	▲4.2	29,176	▲1781	▲5.8	15,771	▲537	▲3.3
H 22	29,801	▲2,344	▲7.3	27,769	▲1407	▲4.8	14,622	▲1149	▲7.3
H 27	28,041	▲1,760	▲5.9	26,258	▲1511	▲5.4	13,760	▲862	▲5.9
R 2	26,029	▲2,012	▲7.2	24,394	▲1,864	▲7.1	12,352	▲1,408	▲10.2

注1) 平成12年から17年の値は、旧八坂村、旧美麻村を合算した値

図表1-2 人口の推移



C0101-2 年齢・性别人口

令和2年の性别人口は、総人口 26,029 人に対して男性 12,594 人（48.4%）、女性 13,435 人（51.6%）となっており、男女比は平成12年以降ほとんど変わっていない。また、年代別では70代が16.1%で最も多く、次いで60代の14.5%、50代の13.4%と続いているが、これからの時代を担う10代は2,001人（7.7%）、9才以下は1,488人（5.7%）と、少子化によりいずれも3,000人に達していない。

平成27年から令和2年にかけての年齢階層別人口構成は、生産年齢人口（15～64歳）は13,174人で1,726人減（11.6%減）、年少人口（0～14歳）は2,460人で570人減（18.8%減）、一方、老年人口（65歳以上）は9,891人で125人増加（1.3%増）となり、高齢化が進んでいる。

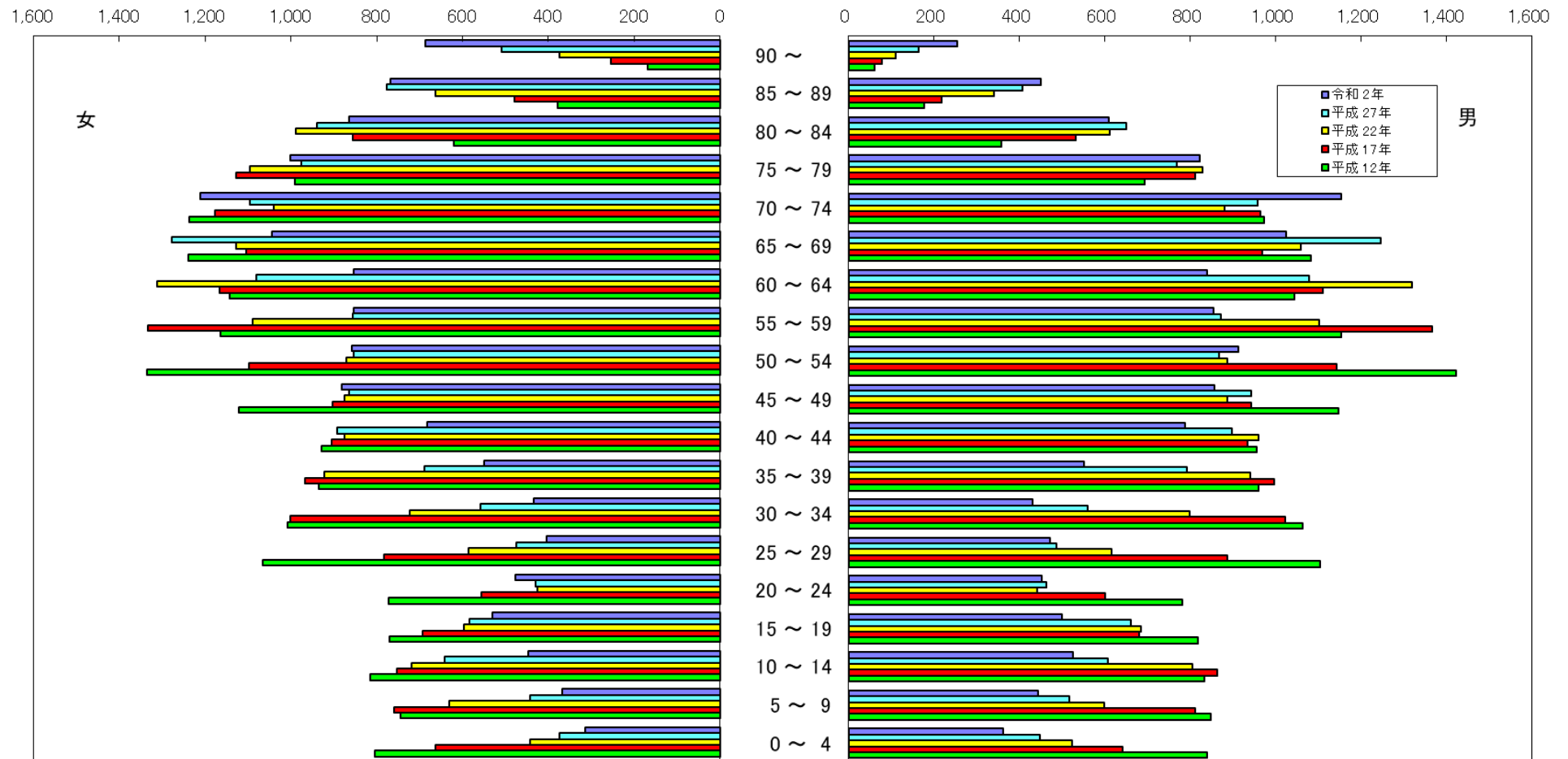
注1) 平成12年から17年の値は、旧八坂村、旧美麻村を合算した値

図表1-3 年齢・性别人口（平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査 男女, 年齢(5歳階級), 国籍総数か日本人別人口）

年齢 階層	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年			備 考
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	
0 ～ 4	1,644	839	805	1,303	641	662	967	524	443	823	448	375	678	363	315	年少人口
5 ～ 9	1,593	848	745	1,571	811	760	1,230	599	631	958	516	442	810	443	367	
10 ～ 14	1,648	832	816	1,615	862	753	1,523	804	719	1,249	607	642	972	525	447	
15 ～ 19	1,589	818	771	1,373	681	692	1,281	685	596	1,245	661	584	1,029	499	530	生産年齢人口
20 ～ 24	1,554	781	773	1,158	601	557	866	441	425	892	462	430	929	452	477	
25 ～ 29	2,168	1,103	1,065	1,668	886	782	1,200	615	585	961	486	475	875	472	403	
30 ～ 34	2,070	1,062	1,008	2,023	1,021	1,002	1,521	799	722	1,117	559	558	864	430	434	
35 ～ 39	1,894	960	934	1,964	997	967	1,864	941	923	1,480	792	688	1,100	551	549	
40 ～ 44	1,883	955	928	1,839	934	905	1,835	960	875	1,790	898	892	1,470	788	682	
45 ～ 49	2,268	1,147	1,121	1,844	942	902	1,761	887	874	1,807	942	865	1,738	856	882	
50 ～ 54	2,757	1,421	1,336	2,241	1,143	1,098	1,757	887	870	1,721	868	853	1,769	912	857	
55 ～ 59	2,317	1,153	1,164	2,699	1,366	1,333	2,191	1,101	1,090	1,728	872	856	1,707	854	853	
60 ～ 64	2,186	1,044	1,142	2,277	1,110	1,167	2,630	1,318	1,312	2,159	1,078	1,081	1,693	839	854	
65 ～ 69	2,322	1,083	1,239	2,072	969	1,103	2,186	1,058	1,128	2,522	1,245	1,277	2,070	1,025	1,045	老年人口
70 ～ 74	2,210	973	1,237	2,140	964	1,176	1,921	881	1,040	2,054	958	1,096	2,365	1,153	1,212	
75 ～ 79	1,684	693	991	1,939	812	1,127	1,924	828	1,096	1,744	769	975	1,823	822	1,001	
80 ～ 84	978	357	621	1,386	531	855	1,601	612	989	1,590	650	940	1,474	610	864	
85 ～ 89	556	178	378	697	219	478	1,003	340	663	1,184	408	776	1,217	450	767	
90 ～	229	61	168	333	78	255	485	110	375	672	164	508	942	255	687	
年齢不詳	0	0	0	3	3	0	55	39	16	345	172	173	504	295	209	
再掲 75歳以上	3,447	1,289	2,158	4,355	1,640	2,715	5,013	1,890	3,123	5,190	1,991	3,199	5,456	2,137	3,319	
総 計	36,997	16,308	17,242	32,145	15,571	16,574	29,801	14,429	15,372	28,041	13,555	14,486	26,029	12,594	13,435	

図表 1－4 年齢・階層別人口構成比

(平成 12, 17, 22, 27, 令和 2 年国勢調査 男女, 年齢(5 歳階級), 国籍総数か日本人別人口)



C0102 D I D

人口集中地区（D I D）は、平成 27 年で面積 210.0ha、人口 5,503 人、人口密度 26.2 人/ha となっている。面積については平成 7 年をピークに、人口については平成 2 年をピークに減少傾向にある。人口密度については、昭和 55 年から減少傾向が続いている。令和 2 年は、D I D 地区の該当はない。

図表 1－5 D I D 資料：国勢調査、大町市都市計画マスタープラン策定(改定)業務 資料編

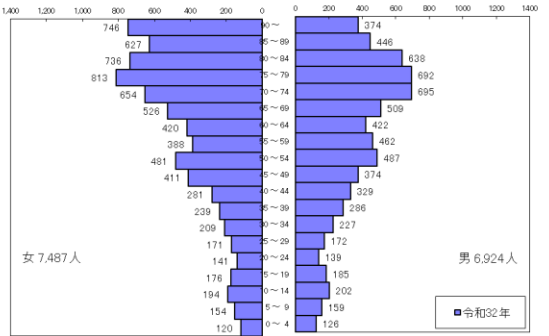
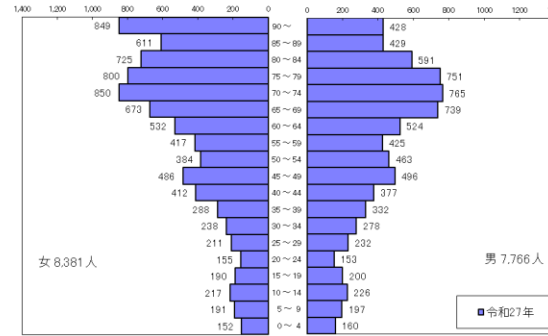
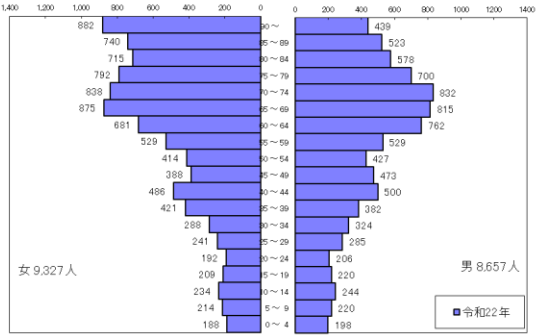
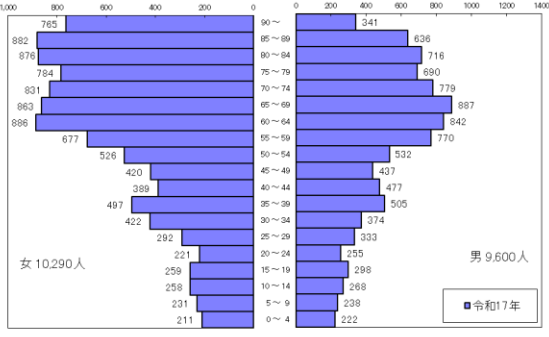
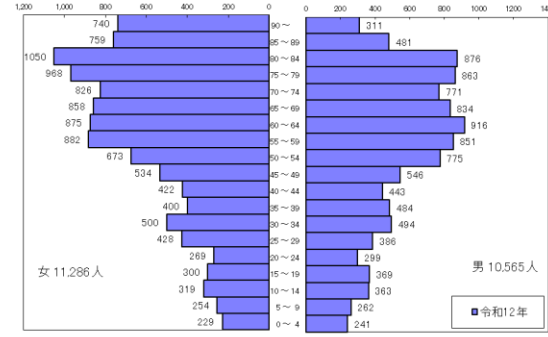
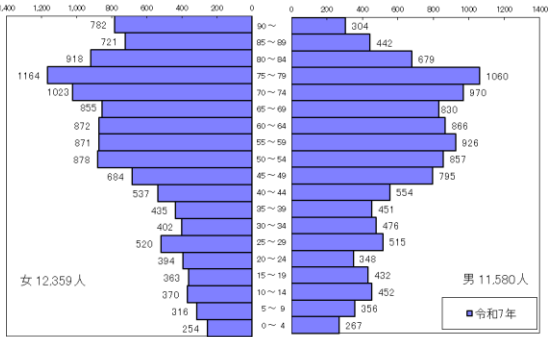
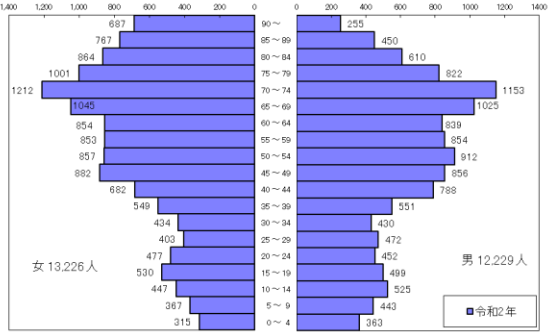
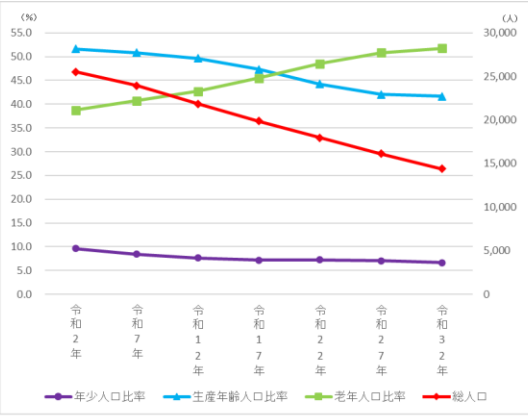
	人口集中地区			用途地域指定区域		用途地域指定区域に対する比率	
	面積 (ha)	人口 (人)	人口密度 (人/ha)	面積 (ha)	人口 (人)	面積ベース (%)	人口ベース (%)
昭和 55 年	220.0	9,201	41.8	838.0	19,806	26.3	46.5
昭和 60 年	220.0	8,426	38.3	838.0	19,182	26.3	43.9
平成 2 年	270.0	9,691	35.9	838.0	18,664	32.2	51.9
平成 7 年	270.0	9,318	34.5	838.0	16,676	32.2	55.9
平成 12 年	256.0	8,029	31.4	838.0	16,308	30.5	49.2
平成 17 年	255.0	7,535	29.5	838.0	15,771	30.4	47.8
平成 22 年	252.0	6,730	26.7	838.0	14,622	30.1	46.0
平成 27 年	210.0	5,503	26.2	838.0	13,760	25.1	40.0
令和 2 年	該当なし			838.0	12,352		

図表 1-6 将来人口の推計

(令和 2 年国勢調査、日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、令和 5 年推計))

		令和 2 年			令和 7 年			令和 12 年			令和 17 年			令和 22 年			令和 27 年			令和 32 年		
		総 数	男	女	総 数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
総数		26,029	12,594	13,435	23,939	11,580	12,359	21,851	10,565	11,286	19,890	9,600	10,290	17,984	8,657	9,327	16,147	7,766	8,381	14,411	6,924	7,487
年 齢 階 級 別	0 ～ 4	678	363	315	521	267	254	470	241	229	433	222	211	386	198	188	312	160	152	246	126	120
	5 ～ 9	810	443	367	672	356	316	516	262	254	469	238	231	434	220	214	388	197	191	313	159	154
	10 ～ 14	972	525	447	822	452	370	682	363	319	526	268	258	478	244	234	443	226	217	396	202	194
	15 ～ 19	1,029	499	530	795	432	363	669	369	300	557	298	259	429	220	209	390	200	190	361	185	176
	20 ～ 24	929	452	477	742	348	394	568	299	269	476	255	221	398	206	192	308	153	155	280	139	141
	25 ～ 29	875	472	403	1,035	515	520	814	386	428	625	333	292	526	285	241	443	232	211	343	172	171
	30 ～ 34	864	430	434	878	476	402	994	494	500	796	374	422	612	324	288	516	278	238	436	227	209
	35 ～ 39	1,100	551	549	886	451	435	884	484	400	1,002	505	497	803	382	421	620	332	288	525	286	239
	40 ～ 44	1,470	788	682	1,091	554	537	865	443	422	866	477	389	986	500	486	789	377	412	610	329	281
	45 ～ 49	1,738	856	882	1,479	795	684	1,080	546	534	857	437	420	861	473	388	982	496	486	785	374	411
	50 ～ 54	1,769	912	857	1,735	857	878	1,448	775	673	1,058	532	526	841	427	414	847	463	384	968	487	481
	55 ～ 59	1,707	854	853	1,797	926	871	1,733	851	882	1,447	770	677	1,058	529	529	842	425	417	850	462	388
	60 ～ 64	1,693	839	854	1,738	866	872	1,791	916	875	1,728	842	886	1,443	762	681	1,056	524	532	842	422	420
	65 ～ 69	2,070	1,025	1,045	1,685	830	855	1,692	834	858	1,750	887	863	1,690	815	875	1,412	739	673	1,035	509	526
	70 ～ 74	2,365	1,153	1,212	1,993	970	1,023	1,597	771	826	1,610	779	831	1,670	832	838	1,615	765	850	1,349	695	654
	75 ～ 79	1,823	822	1,001	2,224	1,060	1,164	1,831	863	968	1,474	690	784	1,492	700	792	1,551	751	800	1,505	692	813
	80 ～ 84	1,474	610	864	1,597	679	918	1,926	876	1,050	1,592	716	876	1,293	578	715	1,316	591	725	1,374	638	736
	85 ～ 89	1,217	450	767	1,163	442	721	1,240	481	759	1,518	636	882	1,263	523	740	1,040	429	611	1,073	446	627
	90 ～	942	255	687	1,086	304	782	1,051	311	740	1,106	341	765	1,321	439	882	1,277	428	849	1,120	374	746
	不詳	504	295	209	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

図表1-7 将来人口の推計



C0104 人口増減

人口増減の内訳の推移をみると、自然動態では平成 12 年以降減少傾向が続いている。特に出生数の減少が著しく、令和 5 年には 109 人で平成 12 年の半数以下となっている。社会動態では、平成 13 年以降 200 人を超える人口減少が続いていたが、平成 25 年以降は転出者数の減少に伴い、社会動態による人口減少は比較的緩やかになってきている。

自然動態、社会動態による人口増減は、平成 13 年以降総合的に大きな人口減少が続いている。

注 1) 平成 22 年までは、県毎月人口異動調査、以降は住民基本台帳より

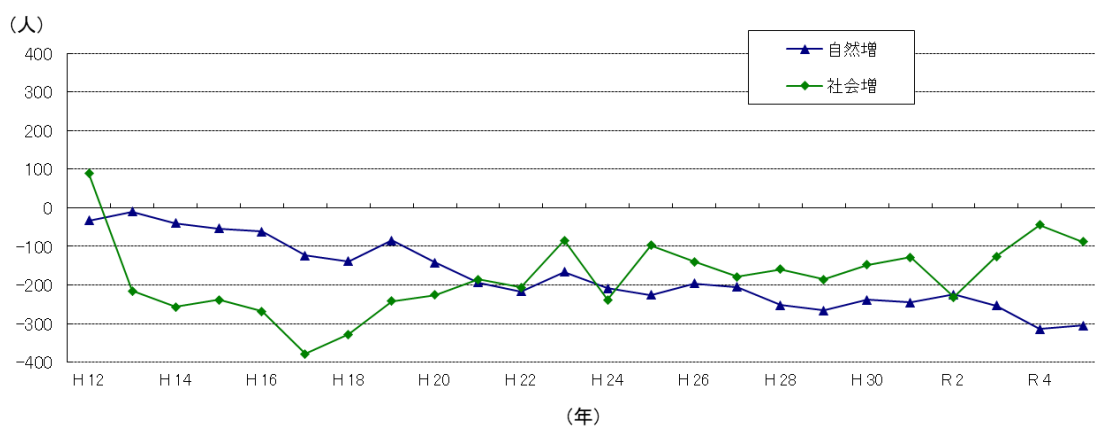
注 2) 平成 12 年から 17 年の値は、旧八坂村、旧美麻村を合算した値

図表 1－8 人口増減の内訳

(大町市調査(令和 6 年 3 月 31 日現在))

項目	自 然 動 態			社 会 動 態			人口	項目	自 然 動 態			社 会 動 態			人口
年度	出生数	死亡数	自然増	転入数	転出数	社会増	増減	年度	出生数	死亡数	自然増	転入数	転出数	社会増	増減
H 12	300	333	▲33	1620	1531	89	56	H 24	160	369	▲209	783	1021	▲238	▲447
H 13	293	303	▲10	1523	1738	▲215	▲225	H 25	148	374	▲226	911	1008	▲97	▲323
H 14	286	326	▲40	1364	1621	▲257	▲297	H 26	187	383	▲196	862	1002	▲140	▲336
H 15	260	314	▲54	1259	1497	▲238	▲292	H 27	166	371	▲205	881	1060	▲179	▲384
H 16	259	321	▲62	1271	1539	▲268	▲330	H 28	148	400	▲252	867	1026	▲159	▲411
H 17	222	346	▲124	1083	1461	▲378	▲502	H 29	133	399	▲266	858	1044	▲186	▲452
H 18	221	360	▲139	1062	1390	▲328	▲467	H 30	138	376	▲238	879	1027	▲148	▲386
H 19	225	310	▲85	979	1221	▲242	▲327	H31/R1	148	393	▲245	866	994	▲128	▲373
H 20	209	351	▲142	971	1197	▲226	▲368	R 2	140	365	▲225	786	1017	▲231	▲456
H 21	190	384	▲194	944	1129	▲185	▲379	R 3	121	374	▲253	815	941	▲126	▲379
H 22	161	377	▲216	942	1148	▲206	▲422	R 4	113	427	▲314	982	1026	▲44	▲358
H 23	194	360	▲166	963	1048	▲85	▲251	R 5	109	414	▲305	926	1014	▲88	▲393

図表 1－9 人口増減の内訳



C0105 通勤・通学移動

就業者の流出入別人口では、常住地による就業者は平成 12 年から 33.0%減少、従業地による就業者も 26.7%減少しており、共に通年的な減少傾向が長い間続いている。

また、流出就業者数、流入就業者数は平成 12 年から令和 2 年までにかけて横ばい傾向にあり、また流出率と流入率で差がほとんどない状況となっている。

流出先は安曇野市が最も多く 991 人（8.1%）、次いで松本市の 554 人（4.6%）、池田町の 432 人（3.6%）となっている。また、流入先も安曇野市が最も多く 1,180 人（9.1%）、次いで松川村の 925 人（7.1%）、池田町 612 人（4.7%）となっている。

通学者の流出入別人口では、令和 2 年の常住地による通学者は平成 27 年から 323 人（27.7%）減少し 843 人、従業地による通学者は 105 人（12.2%）減少して 755 人となっている。流出率と流入率を比較すると流出率の方が高い。

流出先は松本市が最も多く 224 人（26.6%）、次いで安曇野市の 66 人（7.8%）、池田町の 52 人（6.2%）となっている。また流入先では安曇野市が最も多く 157 人（20.8%）次いで松川村の 86 人（11.4%）、池田町の 43 人（5.7%）となっている。

注 1) 平成 12 年から 17 年の値は、旧八坂村、旧美麻村を合算した値

図表 1－10 就業者の流出・流入別人口

(平成 12, 17, 22, 27, 令和 2 年国勢調査 常住地・従業地における就業者・通学者数)

	常住地による 就 業 者 数	流 出		従業地による 就 業 者 数	流 入		従 / 常 就 業 者 比 率
		就 業 者 数	流 出 率		就 業 者 数	流 入 率	
平 成 12 年	人 18,170	人 4,255	% 23.4	人 17,671	人 3,756	% 21.3	% 97.3
平 成 17 年	16,655	4,175	25.1	16,385	3,905	23.8	98.4
平 成 22 年	14,812	3,624	24.5	14,944	3,677	24.6	100.9
平 成 27 年	15,184	4,161	27.4	14,329	3,788	26.4	94.4
令 和 2 年	12,168	3,121	25.6	12,949	3,853	29.8	106.4

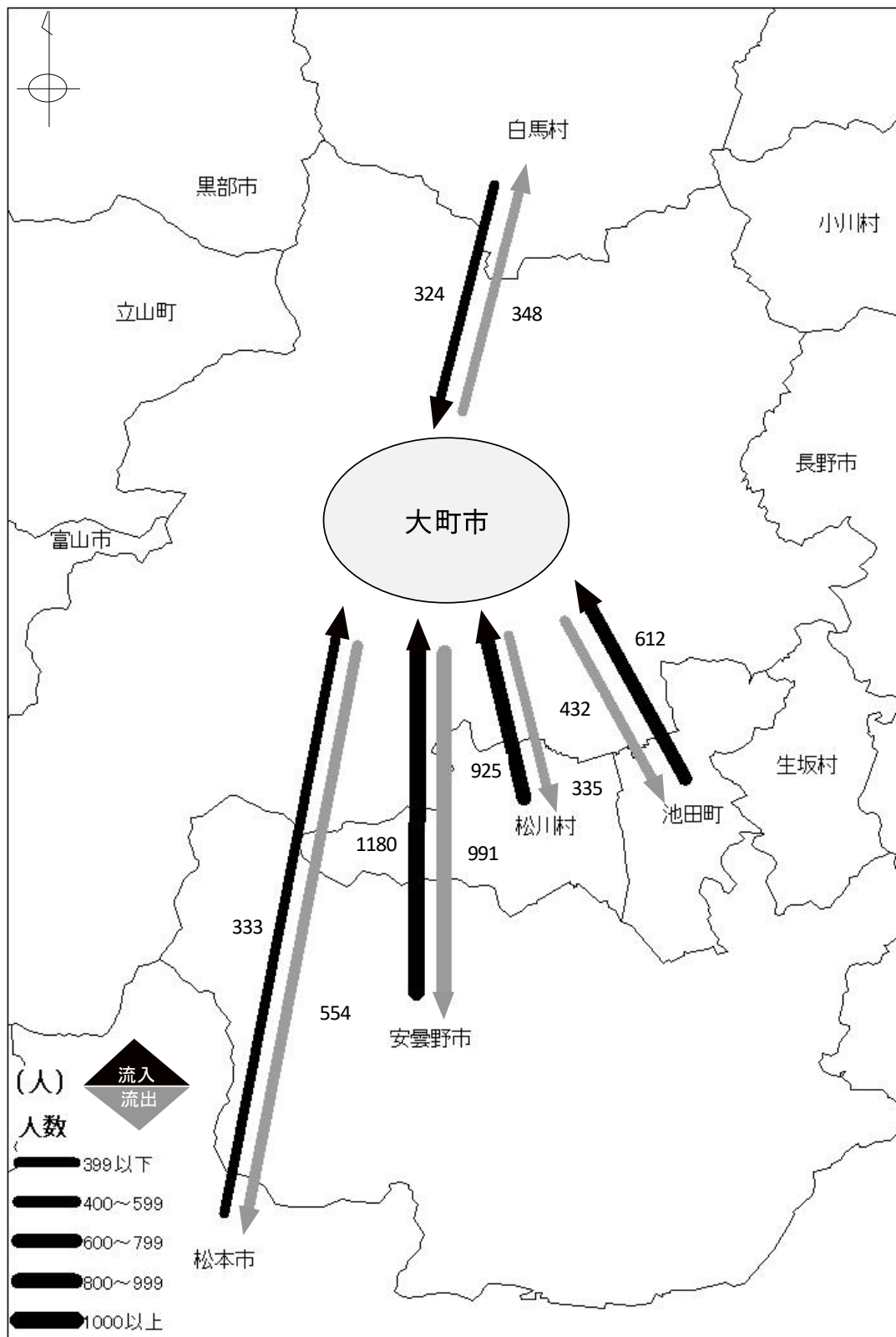
	流 出 先														
	流 出 率 第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成12年	安曇野市	人 1,241	% 6.8	松本市	人 837	% 4.6	池田町	人 537	% 3.0	白馬村	人 386	% 2.1	松川村	人 327	% 1.8
平成17年	安曇野市	1,243	7.5	松本市	834	5.0	池田町	512	3.1	松川村	381	2.3	白馬村	356	2.1
平成22年	安曇野市	1,178	8.0	松本市	716	4.8	池田町	499	3.4	松川村	359	2.4	白馬村	344	2.3
平成27年	安曇野市	1,081	7.1	松本市	675	4.4	池田町	491	3.2	松川村	405	2.7	白馬村	368	2.4
令和 2年	安曇野市	991	8.1	松本市	554	4.6	池田町	432	3.6	白馬村	348	2.9	松川村	335	2.8

	流 入 先														
	流 入 率 第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成12年	安曇野市	人 854	% 4.8	松川村	人 769	% 4.4	池田町	人 578	% 3.3	白馬村	人 328	% 1.9	松本市	人 309	% 1.7
平成17年	安曇野市	1,027	6.3	松川村	788	4.8	池田町	546	3.3	白馬村	411	2.5	松本市	297	1.8
平成22年	安曇野市	1,047	7.0	松川村	894	6.0	池田町	579	3.9	白馬村	409	2.7	松本市	320	2.1
平成27年	安曇野市	1,101	7.7	松川村	905	6.3	池田町	635	4.4	白馬村	404	2.8	松本市	325	2.3
令和 2年	安曇野市	1,180	9.1	松川村	925	7.1	池田町	612	4.7	松本市	333	2.6	白馬村	324	2.5

- 注1 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）就業者数をいう。
 従業地による就業者数とは、当該都市に従業する（昼間人口ベース）就業者数をいう。
- 2 流出率 = 流出就業者数 ÷ 常住地による就業者数 × 100
 流入率 = 流入就業者数 ÷ 従業地による就業者数 × 100
- 3 (従 / 常) 就業者比率 = 従業地による就業者数 ÷ 常住地による就業者数 × 100
- 4 平成2年から17年の値は、旧八坂村、旧美麻村を合算した値

図表 1－1 1 就業者の流出・流入状況図

令和 2 年



図表 1－1 2 通学者の流出・流入別人口

(平成 12, 17, 22, 27, 令和 2 年国勢調査 常住地・従業地における就業者・通学者数)

	常住地による 通 学 者 数	流 出		従業地による 通 学 者 数	流 入		従 / 常 通 学 者 比 率
		通 学 者 数	流 出 率		通 学 者 数	流 入 率	
	人	人	%	人	人	%	%
平 成 12 年	1,399	660	47.2	1,114	375	33.7	79.6
平 成 17 年	1,280	613	47.9	1,077	440	40.9	84.1
平 成 22 年	1,179	581	49.3	1,030	425	41.3	87.4
平 成 27 年	1,166	650	55.7	860	343	39.9	73.8
令 和 2 年	843	476	56.5	755	365	48.3	89.6

	流 出 先														
	流 出 率 第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
		人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
平成12年	松本市	299	21.4	池田町	103	7.4	豊科町	79	5.6	穂高町	54	3.9	白馬村	38	2.7
平成17年	松本市	265	20.7	安曇野市	147	11.5	池田町	76	5.9	長野市	44	3.4	白馬村	23	1.8
平成22年	松本市	252	21.4	安曇野市	141	12.0	池田町	66	5.6	白馬村	45	3.8	長野市	22	1.9
平成27年	松本市	312	26.8	安曇野市	112	9.6	池田町	57	4.9	白馬村	43	3.7	長野市	22	1.9
令和 2年	松本市	224	26.6	安曇野市	66	7.8	池田町	52	6.2	白馬村	19	2.3	長野市	18	2.1

	流 入 先														
	流 入 率 第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
		人	%		人	%		人	%		人	%		人	%
平成12年	白馬村	95	8.5	穂高町	82	7.4	松川村	79	7.1	池田町	53	4.8	小谷村	37	3.3
平成17年	安曇野市	127	11.8	白馬村	110	10.2	松川村	76	7.1	池田町	56	5.2	小谷村	33	3.1
平成22年	安曇野市	156	15.1	池田町	85	8.3	松川村	79	7.7	白馬村	75	7.3	小谷村	22	2.1
平成27年	安曇野市	129	15.0	松川村	69	8.0	白馬村	57	6.6	池田町	43	5.0	小谷村	34	4.0
令和 2年	安曇野市	157	20.8	松川村	86	11.4	池田町	43	5.7	白馬村	40	5.3	小谷村	21	2.8

- 注1 常住地による通学者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）通学者数をいう。
 従業地による通学者数とは、当該都市に従業する（昼間人口ベース）通学者数をいう。
- 2 流出率 = 流出通学者数 ÷ 常住地による通学者数 × 100
 流入率 = 流入通学者数 ÷ 従業地による通学者数 × 100
- 3 (従 / 常)通学者比率 = 従業地による通学者数 ÷ 常住地による通学者数 × 100

図表 1－1 3 通学者の流出・流入状況図

令和 2 年

